

2021年3月19日

各 位

会社名 株式会社 クリーマ
代表者名 代表取締役社長 丸林耕太郎
(コード番号：4017 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員コーポレートディビジョン GM 伊藤彩紀
(TEL.03-6447-0105)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年11月27日に公表した2021年2月期の業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正 (2020年3月1日～2021年2月28日)

	連結売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,937	百万円 162	百万円 144	百万円 198	円 銭 40.00
今回修正予想(B)	2,062	226	204	178	35.48
増減額(B-A)	125	63	60	△19	—
増減率(%)	6.5%	39.1%	42.2%	△9.9%	—
(ご参考) 前期連結実績 (2020年2月期)	1,517	48	45	△28	△7.58

2. 修正理由

当社グループは、当社と連結子会社1社(可利瑪股份有限公司)で構成され、「まるくて大きな時代をつくろう」を企業理念に、その実現に向けた第一弾の事業として、クリエイターエンパワーメント事業を推進しております。

2021年2月期につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う巣ごもり消費、クリエイター及び生活者のオンラインシフトの加速等により、当社主軸サービスとなるハンドメイドマーケットプレイス「Creema」の流通総額が大幅に伸びました。その結果、連結営業利益及び連結経常利益が当初の業績予想を上回る見込みとなりましたので、2021年

2 月期通期連結業績予想を修正することにいたしました。

マーケットプレイスサービスにおいては、流通総額が当初の 14,077 百万円（前年同期比 156%）から、15,419 百万円（前年同期比 171%）になると見込んでおります。それに伴い、売上高は当初の 1,388 百万円（前年同期比 157%）から 1,531 百万円（前年同期比 173%）になる見込みであります。また、プラットフォームサービスでは、売上高は当初の 443 百万円（前年同期比 154%）から 430 百万円（前年同期比 149%）で着地する見込みです。イベント・ストアサービスでは、売上高は当初の 89 百万円（前年同期比 26%）から 85 百万円（前年同期比 25%）になると見込んでおります。その結果、当社の売上全体では、当初の 1,937 百万円（前年同期比 128%）から、2,062 百万円（前年同期比 136%）になると見込んでおります。

販売費及び一般管理費につきましては、「Creema」の認知度向上と新規顧客獲得のため、2020 年 12 月と 2021 年 2 月にテレビ CM を放映いたしました。また、中長期の更なる成長に向け、プラットフォームサービスやクラウドファンディングサービス関連の開発投資等を行いました。これにより広告宣伝費と開発費が当初計画よりも拡大した一方で、リモートワークの推進等による経費の最適化が進んだ結果、販売費及び一般管理費は、当初の 1,748 百万円（前年同期比 129%）から 1,831 百万円（前年同期比 135%）になる見込みです。

利益につきましては、当初の営業利益 162 百万円（前年同期比 334%）、経常利益 144 百万円（前年同期比 314%）から、営業利益 226 百万円（前年同期比 464%）、経常利益 204 百万円（前年同期比 446%）となる見込みです。また、当期純利益につきましては、2021 年 2 月 25 日付けの「自己新株予約権消却および特別損失計上に関するお知らせ」に開示の通り、2021 年 2 月期第 4 四半期にて、自己新株予約権消却損を 54 百万円ほど特別損失として計上した関係で、当初の 198 百万円から、178 百万円（前年同期比+206 百万円）になる見込みです。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しです。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以上